

令和7年度「児童・生徒のインターネット利用状況調査」

調査報告書【概要版】

調査概要

調査の目的

本調査は、インターネットの利用やトラブル被害を経験した都内公立学校児童・生徒の割合及びその内容、学校による対応等の現状を明らかにし、情報教育行政を進める上での基礎資料とするとともに、児童・生徒に対して生成AI等を使いこなす力や、有害情報から身を守るためのリテラシー向上につなげることを目的とする。

調査対象校

区市町村立小学校	区市町村立中学校 都立中学校	都立中等教育学校	都立高等学校	都立特別支援学校	計
44校	26校	1校	16校	15校	102校

調査人数

児童・生徒

都内公立学校児童・生徒の約1% 約12,000人

調査対象校の管理職

調査対象校管理職102人

調査方法

Webアンケートフォームによる回答

調査内容

インターネットの利用状況及び利用目的等

調査期間

令和7年10月下旬から令和7年12月下旬まで

1 児童・生徒

児童・生徒のインターネット利用の実態と変化

(1) インターネットを利用するための機器

【質問1】 インターネットを利用するために使っている機器はどれですか。（複数回答可）

分析

全体では「タブレット端末・パソコン」67.6%、「スマートフォン」54.9%、「ゲーム機」48.6%、「自分の携帯電話」41.9%、「インターネット機能付テレビ」29.1%の順に割合が高くなっている。

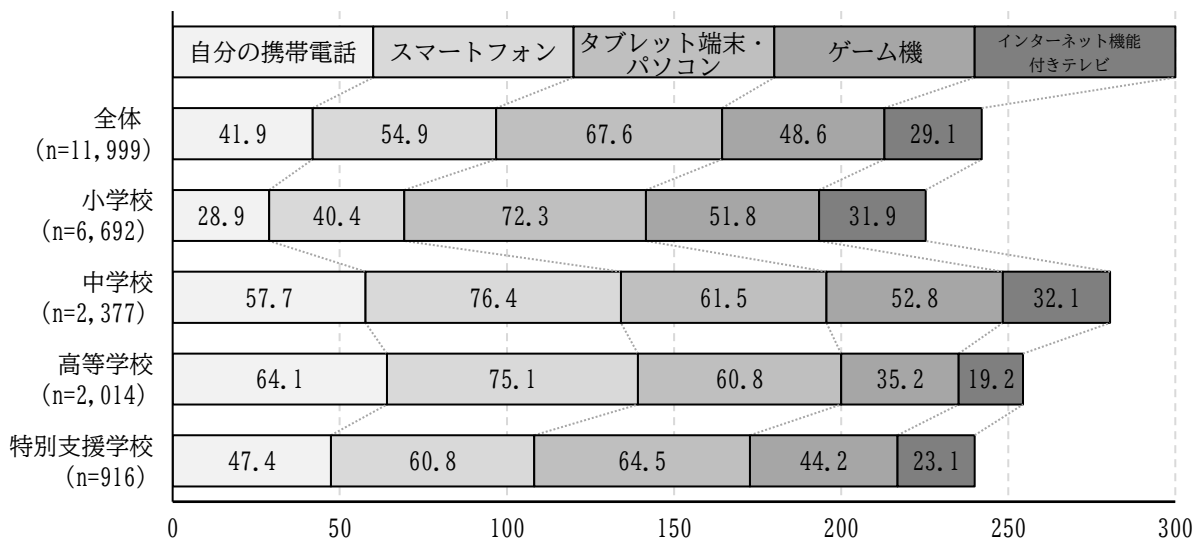
小学校・特別支援学校で「タブレット端末・パソコン」が最も高く、中学校・高等学校で「スマートフォン」が最も高い。

■インターネットを利用するための機器（学校種別）

学校種	(n)	インターネットを利用するための機器の割合（%）				
		① 自分の携帯電話	② スマートフォン	③ タブレット端末・ パソコン	④ ゲーム機	⑤ インターネット 機能付テレビ
全体	11,999	41.9	54.9	67.6	48.6	29.1
小学校	6,692	28.9	40.4	72.3	51.8	31.9
中学校	2,377	57.7	76.4	61.5	52.8	32.1
高等学校	2,014	64.1	75.1	60.8	35.2	19.2
特別支援学校	916	47.4	60.8	64.5	44.2	23.1

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。



(4) 一日のインターネット利用時間（学習）

【質問4】 一日何時間くらい、家でインターネットを使った学習をしますか。（単一回答）

分析

全体では「ほとんど使わない」46.4%、「1時間程度」32.2%、「2時間程度」10.3%の順に割合が高くなっている。

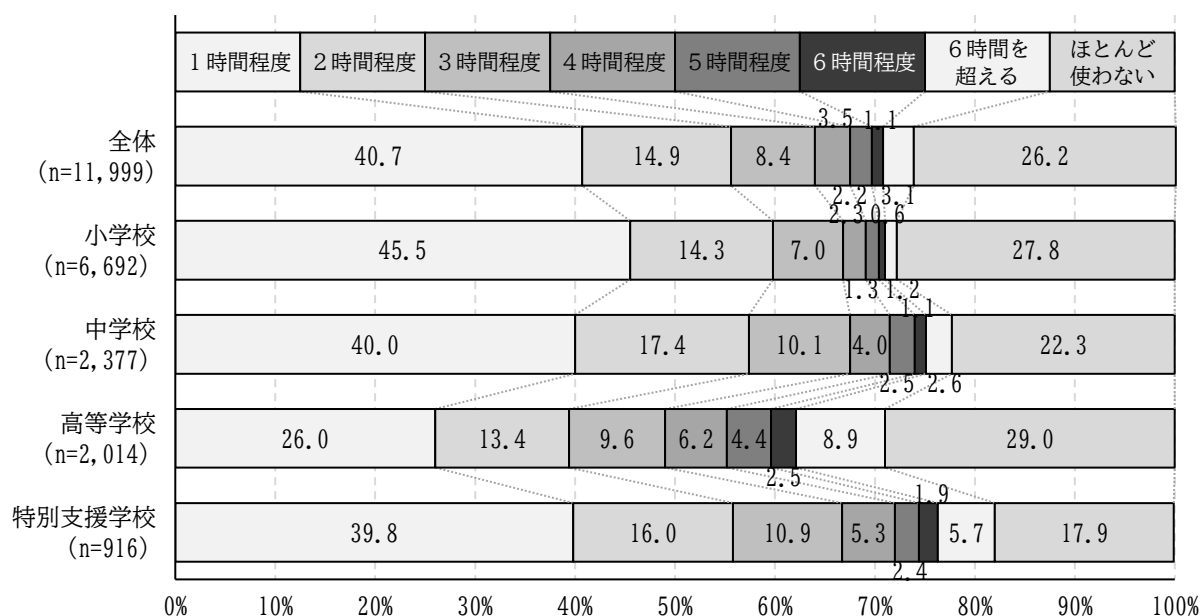
すべての学校種で、家での学習では「ほとんど使わない」が最も高い。

■一日のインターネット利用時間（学習）（学校種別）

学校種	(n)	一日のインターネット利用時間（学習）の割合（%）							
		① 1時間程度	② 2時間程度	③ 3時間程度	④ 4時間程度	⑤ 5時間程度	⑥ 6時間程度	⑦ 6時間を超える	⑧ ほとんど使わない
全体	11,999	32.2	10.3	4.7	2.2	1.3	0.6	2.2	46.4
小学校	6,692	33.2	9.9	3.9	1.7	1.0	0.4	1.2	48.9
中学校	2,377	34.0	11.7	6.1	2.3	1.3	0.4	1.6	42.6
高等学校	2,014	29.2	10.5	5.5	3.2	2.3	1.0	4.3	43.9
特別支援学校	916	27.4	9.4	5.5	3.3	2.2	2.2	6.6	43.6

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。



(6) 生成A Iの利用状況（経年比較）

【質問6】 家でインターネットを使って学習をする時に、生成A Iを使ったことがありますか。
（単一回答）

分析

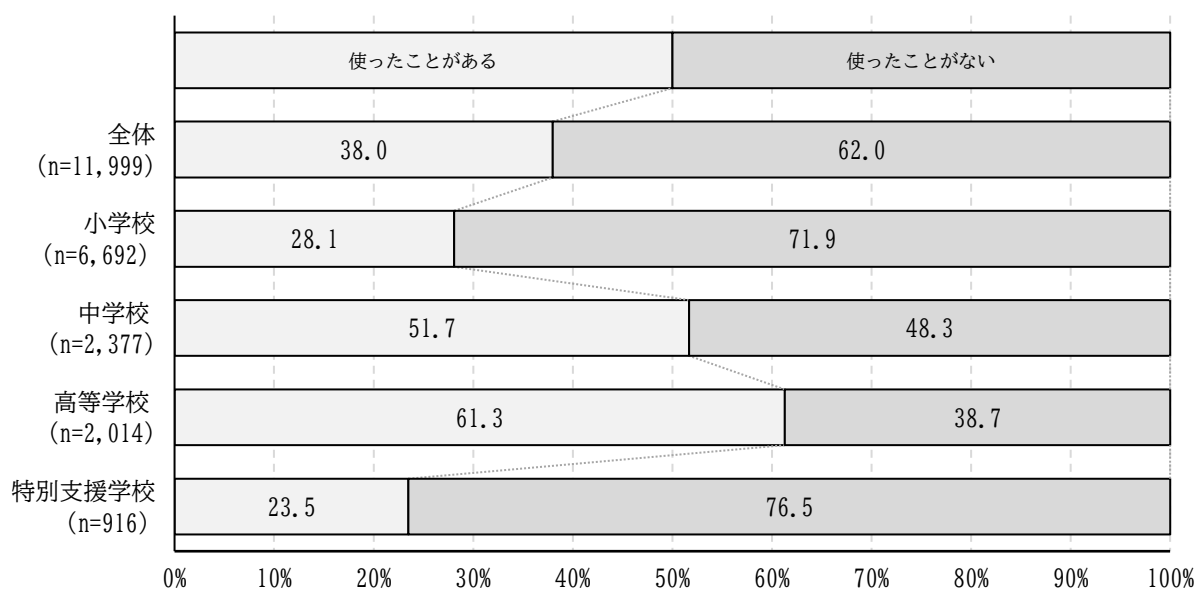
全体では、「使ったことがある」と回答した児童・生徒が 38.0% に達しており、生成A Iがすでに一定数の学習場面で活用され始めている。前年度との比較（83 頁）を行うと、令和7年度はすべての校種で「使ったことがある」割合が倍増している。

学校種別に見ると、中学校、高等学校になるにつれて利用割合が高まっており、学年進行に伴い、学習や情報収集の手段の一つとして生成A Iを捉え、主体的に活用しようとする姿が広がっている。一方、特別支援学校では、「使ったことがある」と回答した割合は他の学校種と比べて低い水準にとどまっている。

■生成A Iの利用状況（学校種別）

学校種	(n)	生成A Iの利用状況の割合 (%)	
		①使ったことがある	②使ったことがない
全体	11,999	38.0	62.0
小学校	6,692	28.1	71.9
中学校	2,377	51.7	48.3
高等学校	2,014	61.3	38.7
特別支援学校	916	23.5	76.5

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。



■生成A Iの利用状況（学校種別）令和5年度から7年度の経年比較

学校種	年度	(n)	生成A Iの利用状況の割合（％）	
			①使ったことがある	②使ったことがない
全体	R05	11,662	14.7	85.3
	R06	11,434	16.9	83.1
	R07	11,999	38.0	62.0
小学校	R05	7,069	11.7	88.3
	R06	7,153	13.7	86.3
	R07	6,692	28.1	71.9
中学校	R05	2,395	19.6	80.4
	R06	2,398	21.5	78.5
	R07	2,377	51.7	48.3
高等学校	R05	1,508	21.7	78.3
	R06	1,282	29.7	70.3
	R07	2,014	61.3	38.7
特別支援学校	R05	690	13.3	86.7
	R06	601	8.7	91.3
	R07	916	23.5	76.5

※網掛けは各学校種及び年度で最も割合の高いものを示している。

インターネット利用に伴うリスクとトラブルの実態

(12) インターネットでの知らない人とのやりとり（経年比較）

【質問12】 インターネットで知らない人とやりとりしたことがありますか。（複数回答可）

分析

全体では「やりとりしたことはない」42.1%、「『いいね』ボタンを押したことがある」41.2%、「感想・コメントを書き込んだことがある」21.4%の順に割合が高くなっている。

小学校・特別支援学校で「やりとりしたことはない」が最も高く、中学校・高等学校で「『いいね』ボタンを押したことがある」が最も高い。

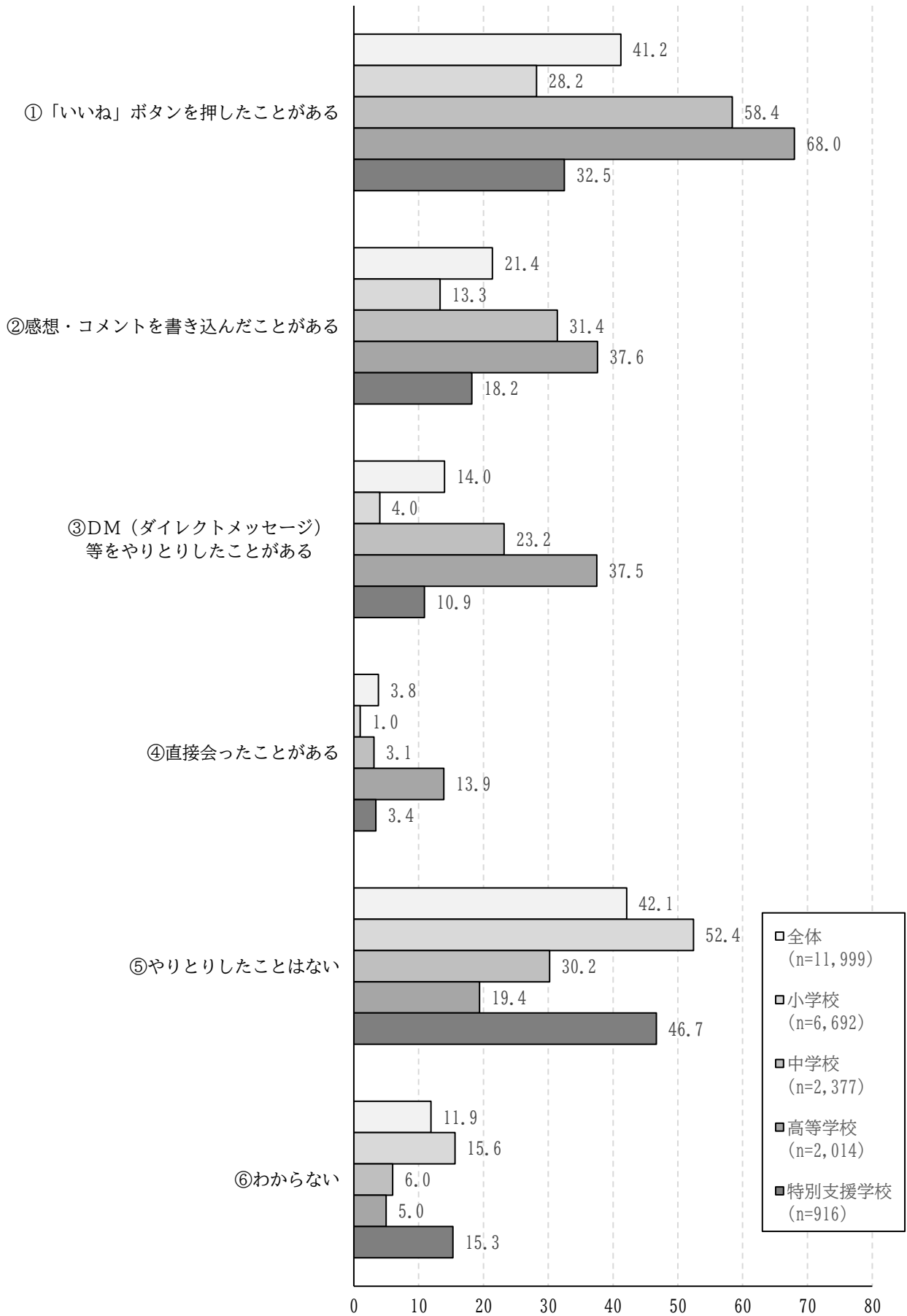
■インターネットでの知らない人とのやりとりの割合（学校種別）

学校種	(n)	インターネットでの知らない人とのやりとりの割合 (%)					
		① 「いいね」 ボタンを押した ことがある	② 感想・ コメントを 書き込んだ ことがある	③ DM（ダイ レクトメッ セージ） 等をやり とりした ことがある	④ 直接会 ったこと がある	⑤ やりと りした こと はない	⑥ わか らな い
全体	11,999	41.2	21.4	14.0	3.8	42.1	11.9
小学校	6,692	28.2	13.3	4.0	1.0	52.4	15.6
中学校	2,377	58.4	31.4	23.2	3.1	30.2	6.0
高等学校	2,014	68.0	37.6	37.5	13.9	19.4	5.0
特別支援学校	916	32.5	18.2	10.9	3.4	46.7	15.3

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

■インターネットでの知らない人とのやりとり（学校種別）



■インターネットでの知らない人とのやりとりの割合（学校種別）令和5年度～7年度の経年比較

学校種	年度	(n)	インターネットでの知らない人とのやりとりの割合（％）						
			① 「いいね」ボタンを押ししたこと がある	② 感想・コメントを書き込んだ ことがある	③ DM（ダイレクトメッセージ） 等をやりとりしたことがある	④ 直接会ったことがある	⑤ やりとりしたことはない	⑥ わからない	⑦ 無回答
全体	R03	11,215	35.7	20.6	16.1	2.8	51.0	8.6	3.3
	R04	12,100	36.6	19.9	14.2	3.1	51.2	0.1	-
	R05	11,662	38.7	20.9	14.0	3.8	49.9	14.2	-
	R06	11,434	39.6	18.9	12.0	3.3	47.9	13.3	-
	R07	11,999	41.2	21.4	14.0	3.8	42.1	11.9	-
小学校	R03	6,868	23.7	11.8	5.6	1.1	62.2	10.9	3.6
	R04	6,970	22.4	9.6	3.7	1.1	63.5	0.2	-
	R05	7,069	24.7	11.0	4.0	0.9	61.7	18.4	-
	R06	7,153	29.0	11.7	4.2	1.4	56.9	16.5	-
	R07	6,692	28.2	13.3	4.0	1.0	52.4	15.6	-
中学校	R03	2,483	55.1	33.8	27.6	2.8	37.3	3.5	2.1
	R04	3,024	55.7	34.2	26.1	4.2	37.1	0.1	-
	R05	2,395	61.7	34.7	25.2	4.6	33.8	7.0	-
	R06	2,398	62.2	33.2	23.2	4.4	31.8	5.8	-
	R07	2,377	58.4	31.4	23.2	3.1	30.2	6.0	-
高等学校	R03	1,377	65.2	42.4	50.3	11.5	19.2	4.6	2.0
	R04	1,456	72.5	41.4	41.8	11.5	19.2	0.0	-
	R05	1,508	72.6	45.8	44.2	15.9	19.2	3.8	-
	R06	1,282	65.8	35.5	36.7	12.5	23.8	5.1	-
	R07	2,014	68.0	37.6	37.5	13.9	19.4	5.0	-
特別支援 学校	R03	487	22.4	15.8	8.8	2.9	53.6	13.6	8.0
	R04	650	20.9	15.2	9.4	1.8	56.8	0.2	-
	R05	690	29.6	19.3	11.0	4.1	51.6	18.4	-
	R06	601	19.0	11.3	6.5	1.8	57.6	23.3	-
	R07	916	32.5	18.2	10.9	3.4	46.7	15.3	-

※網掛けは各学校種及び年度で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

(13) やりとりのきっかけは、どのような話題か

【質問13】 質問12で「DM（ダイレクトメッセージ）等をやりとりしたことがある」と「直接会ったことがある」にチェックを付けた人にお聞きします。やりとりのきっかけは、どのような話題でしたか。（複数回答可）

分析

全体では「ゲーム（スマホ用・家庭用・パソコン・ゲームセンター）の話」44.2%、「アニメや漫画の話」29.1%、「芸能人やユーチューバー等の話」27.7%の順に割合が高くなっている。

すべての学校種で「ゲーム（スマホ用・家庭用・パソコン・ゲームセンター）の話」が最も高い。

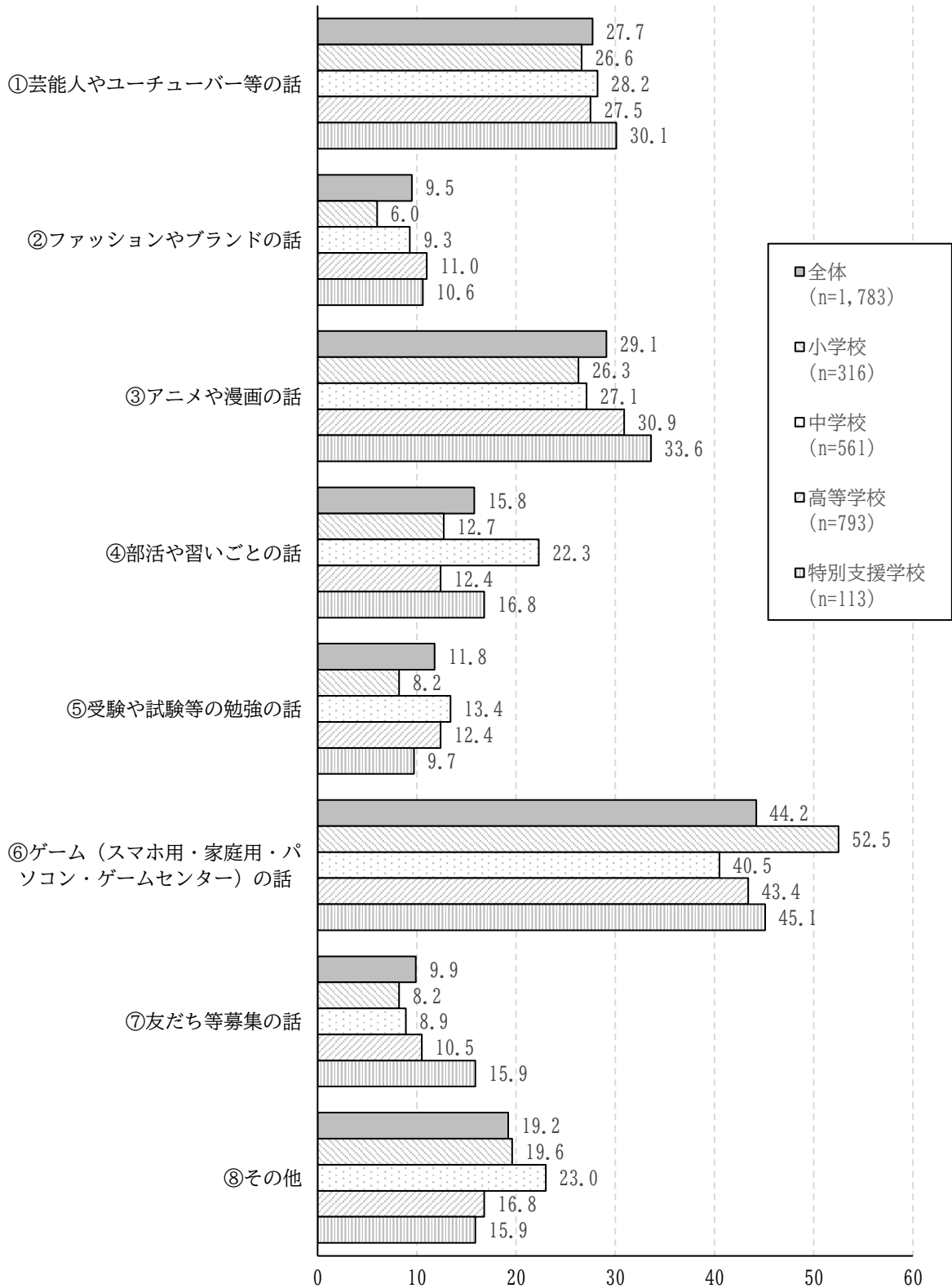
■やりとりのきっかけとなった話題（学校種別）

学校種	(n)	やりとりのきっかけは、どのような話題かの割合 (%)							
		① 芸能人やユーチューバー等の話	② ファッションやブランドの話	③ アニメや漫画の話	④ 部活や習いごとの話	⑤ 受験や試験等の勉強の話	⑥ ゲーム（スマホ用・家庭用・パソコン・ゲームセンター）の話	⑦ 友だち等募集の話	⑧ その他
全体	1,783	27.7	9.5	29.1	15.8	11.8	44.2	9.9	19.2
小学校	316	26.6	6.0	26.3	12.7	8.2	52.5	8.2	19.6
中学校	561	28.2	9.3	27.1	22.3	13.4	40.5	8.9	23.0
高等学校	793	27.5	11.0	30.9	12.4	12.4	43.4	10.5	16.8
特別支援学校	113	30.1	10.6	33.6	16.8	9.7	45.1	15.9	15.9

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

■やりとりのきっかけとなった話題（学校種別）



その他の主な回答（カッコ内は件数）	
趣味（46）	取引・交換・金銭（15）
雑談/日常・挨拶/自己紹介（31）	遊びの約束/オフ会（8）
音楽（曲・ボカロ・アーティスト）（16）	相談・悩み/愚痴（6）

(14) インターネット利用による生活や健康の変化

【質問14】 インターネットを利用していることにより、あなたの生活や健康に変化がありましたか。
(複数回答可)

分析

全体では「その他」を除き「目が悪くなった」27.5%、「寝不足になった」22.7%、「本や新聞を読む時間が減った」17.5%の順に割合が高くなっている。

すべての学校種で「目が悪くなった」が最も高い。

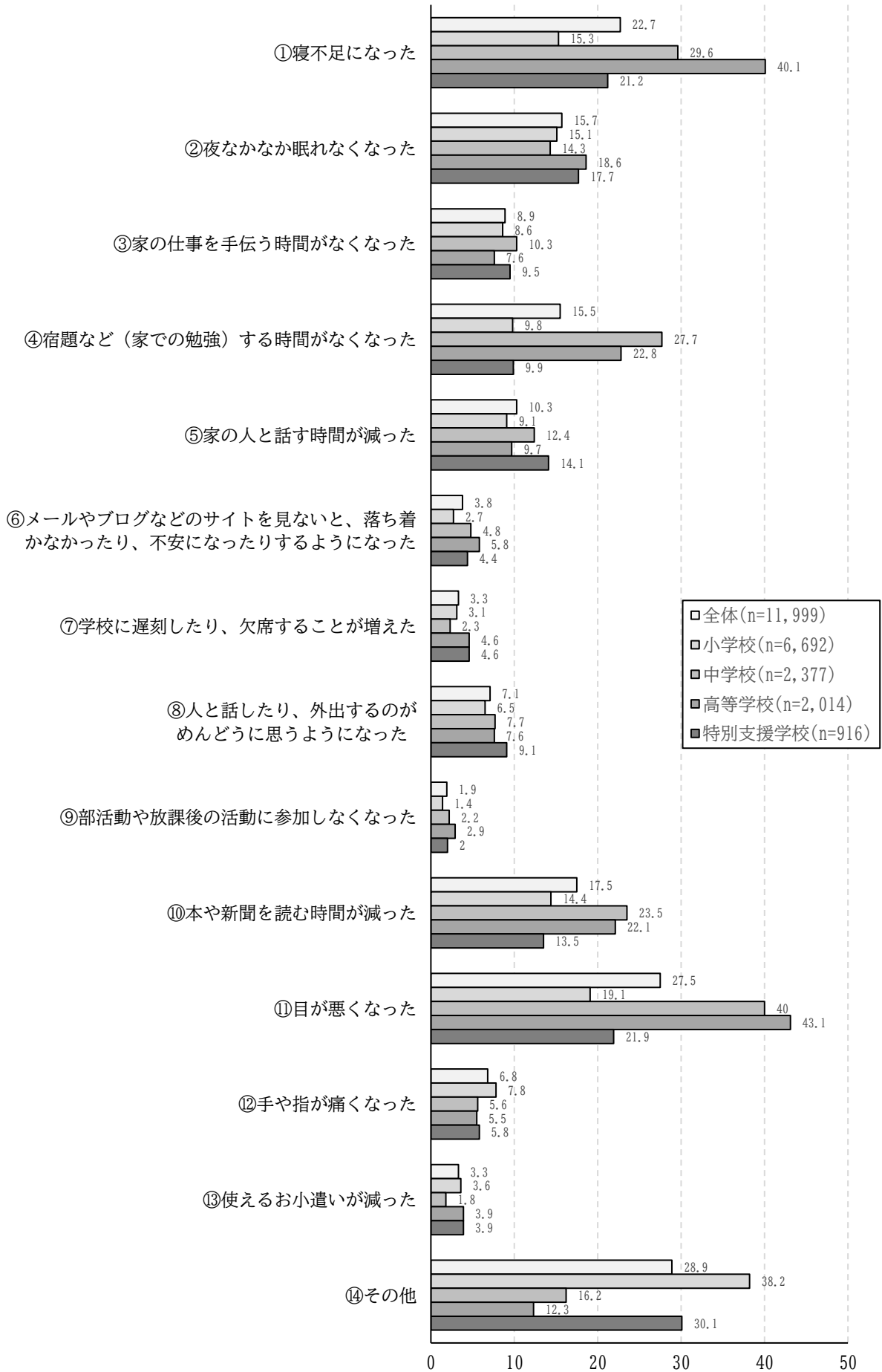
■インターネット利用による生活や健康の変化（学校種別）

学校種	(n)	インターネット利用による生活や健康の変化の割合 (%) 1/2						
		① 寝不足になった	② 夜なかなか眠れなくなった	③ 家の仕事を手伝う時間がなくなった	④ 宿題など(家での勉強)する時間がなくなった	⑤ 家の人と話す時間が減った	⑥ メールやブログなどのサイトを見ないと、落ち着かなかったり、不安になったりするようになった	⑦ 学校に遅刻したり、欠席することが増えた
全体	11,999	22.7	15.7	8.9	15.5	10.3	3.8	3.3
小学校	6,692	15.3	15.1	8.6	9.8	9.1	2.7	3.1
中学校	2,377	29.6	14.3	10.3	27.7	12.4	4.8	2.3
高等学校	2,014	40.1	18.6	7.6	22.8	9.7	5.8	4.6
特別支援学校	916	21.2	17.7	9.5	9.9	14.1	4.4	4.6

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

■インターネット利用による生活や健康の変化（学校種別）



(18) インターネット利用時のトラブルや嫌な思いの経験の有無

【質問18】 令和7年4月から今までの間で、インターネットを利用するときにトラブルや嫌な思いをしたことがありますか。(単一回答)

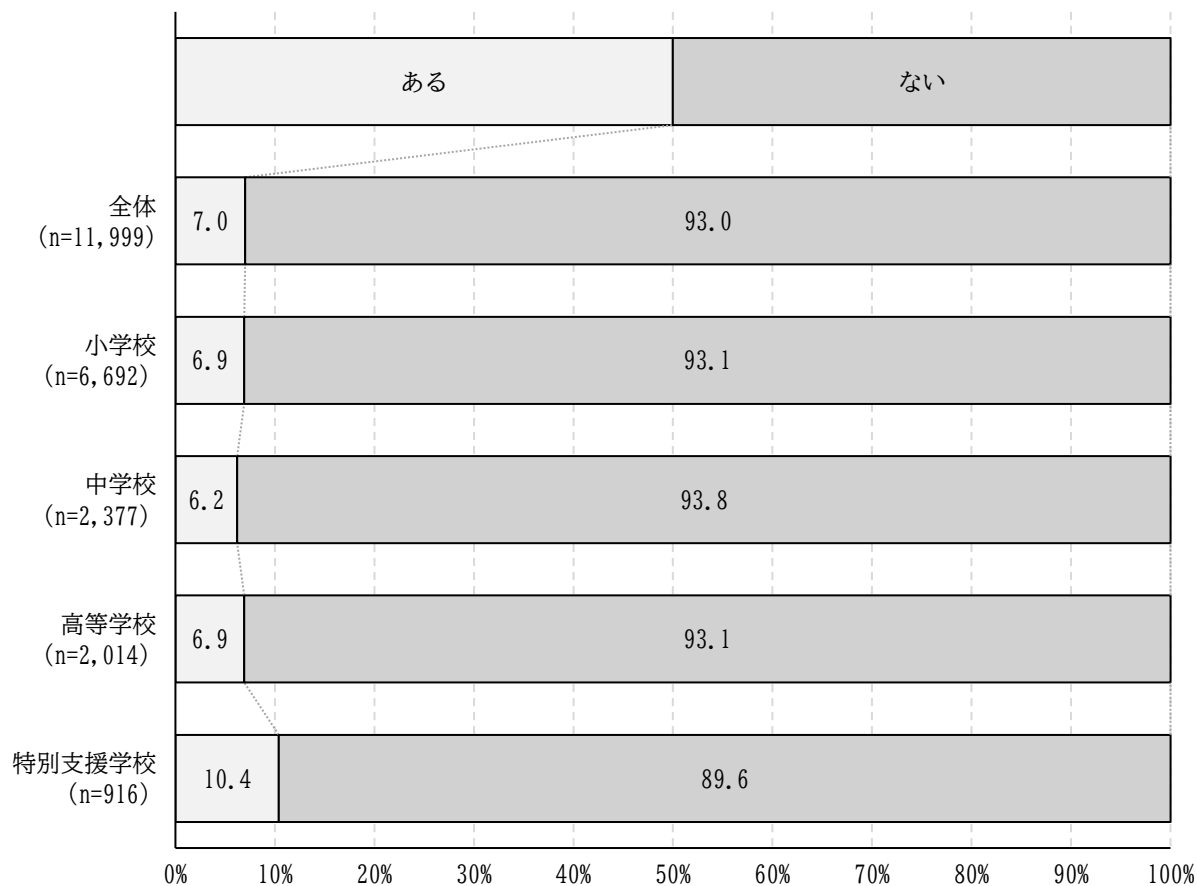
分析

全体では「ない」が93.0%で高く、「ある」は7.0%であった。すべての学校種で「ない」が高くなっている。

■インターネット利用時のトラブルや嫌な思いの経験の有無(学校種別)

学校種	(n)	インターネット利用時の トラブルや嫌な思いの経験の有無の割合(%)	
		① ある	② ない
全体	11,999	7.0	93.0
小学校	6,692	6.9	93.1
中学校	2,377	6.2	93.8
高等学校	2,014	6.9	93.1
特別支援学校	916	10.4	89.6

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。



(19) トラブルや嫌な思いをした経験の内容

【質問19】 自分が経験したトラブルや嫌な思いは何ですか。(複数回答可)

分析

「その他」を除くと、全体では「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友だちとけんかになった」33.1%、「グループ内や、誰も見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた」17.9%、「無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした」15.5%の順に割合が高くなっている。

すべての学校種で「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友だちとけんかになった」が最も高い。

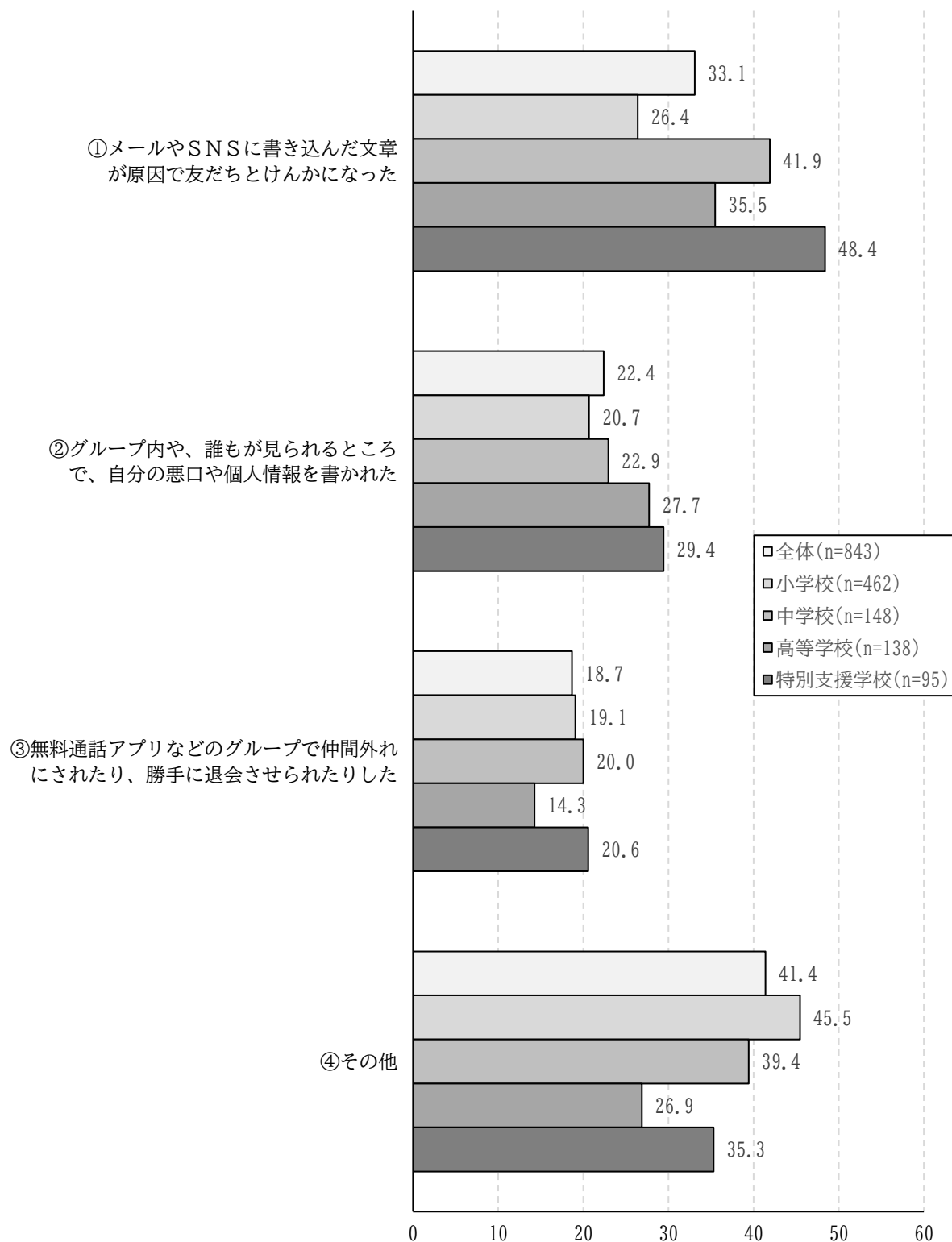
■トラブルや嫌な思いをした経験の内容（学校種別）

学校種	(n)	トラブルや嫌な思いをした経験の内容の割合 (%)			
		① メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友だちとけんかになった	② グループ内や、誰も見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた	③ 無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられた	④ その他
全体	843	33.1	17.9	15.5	44.5
小学校	462	26.4	16.9	16.9	50.0
中学校	148	41.9	18.2	12.2	41.2
高等学校	138	35.5	18.8	14.5	39.1
特別支援学校	95	48.4	21.1	15.8	30.5

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

■トラブルや嫌な思いをした経験の内容（学校種別）



その他の主な回答（カッコ内は件数）	
ゲームでのトラブル(86件)	知らない人とのトラブル(13件)
詐欺・盗難・アカウントの乗っ取り(20件)	

2 学校

学校におけるインターネット指導の取組状況

(3) インターネットについての指導内容

【質問3】 インターネットの利用について、児童・生徒に対してどのように指導していますか。
(複数回答可)

分析

全体では「集会や学級活動（ホームルーム）などの時間に指導を行っている」70.6%、「学校で資料や通知を作成して指導を行っている」68.6%、「国や都、関係機関等の資料（含GIGAワークブックとうきょう（旧SNS東京ノート））を活用して指導を行っている」66.7%の順に割合が高くなっている。

小学校では「学校で資料や通知を作成して指導を行っている」が最も高く、中学校・高等学校・特別支援学校では「集会や学級活動（ホームルーム）などの時間に指導を行っている」が最も高い。

■インターネットについての指導内容（学校種別）

学校種	(n)	インターネットについての指導内容の割合 (%)								
		① 国や都、関係機関等の資料（含GIGAワークブックとうきょう（旧SNS東京ノート））を活用して指導を行っている	② 都の学校非公式サイト等の監視結果を活用して指導を行っている	③ 学校で資料や通知を作成して指導を行っている	④ 外部人材を活用して指導を行っている	⑤ 集会や学級活動（ホームルーム）などの時間に指導を行っている	⑥ 授業等で計画的に指導を行っている	⑦ 行事等で指導を行っている	⑧ 各教員の裁量により指導を行っている	⑨ その他
全体	102	66.7	5.9	68.6	49.0	70.6	59.8	24.5	33.3	2.9
小学校	44	75.0	4.5	75.0	56.8	47.7	72.7	20.5	25.0	4.5
中学校	27	66.7	7.4	66.7	55.6	92.6	48.1	11.1	37.0	0.0
高等学校	16	56.3	12.5	62.5	50.0	100.0	43.8	56.3	37.5	6.3
特別支援学校	15	53.3	0.0	60.0	13.3	66.7	60.0	26.7	46.7	0.0

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

(8) インターネットに関するトラブルの有無

【質問8】 自校の児童・生徒に、インターネットの利用に関するトラブルが起きたことがありますか。令和7年4月以降について回答してください。(単一回答)

分析

全体では「ある」63.7%で「ない」36.3%であった。

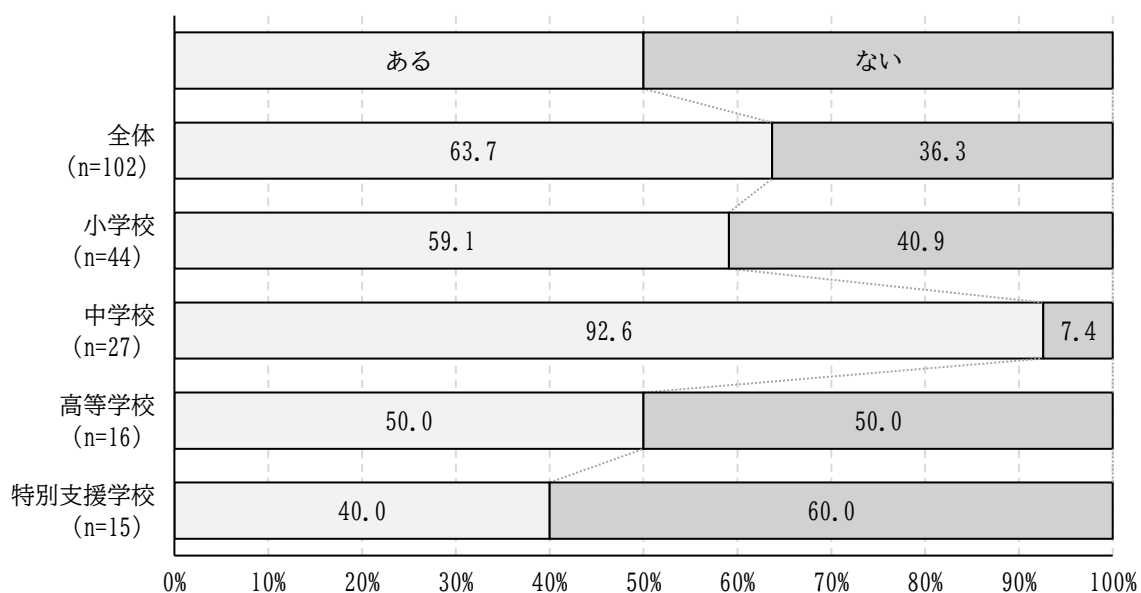
小学校・中学校・高等学校では「ある」が半数以上で、特別支援学校では「ない」が過半数であった。

■インターネットに関するトラブル（学校種別）

学校種	(n)	インターネットに関するトラブルの割合 (%)	
		① ある	② ない
全体	102	63.7	36.3
小学校	44	59.1	40.9
中学校	27	92.6	7.4
高等学校	16	50.0	50.0
特別支援学校	15	40.0	60.0

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

■インターネットに関するトラブル（学校種別）



(9) トラブルの内容

【質問9】 質問8で「ある」と回答した学校にお聞きします。どのようなトラブルがありましたか。令和7年4月以降について、学校が把握している範囲で回答してください。(複数回答可)

分析

小学校・中学校・特別支援学校で「無料通話アプリやコミュニケーションアプリ（グループでメッセージをやりとりするアプリ）が原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた」の割合が最も高く、高等学校では「誹謗中傷のメール、不審者メール、チェーンメール、なりすましメール、わいせつ画像、架空請求等が児童・生徒に送信されてきた」が最も高い。

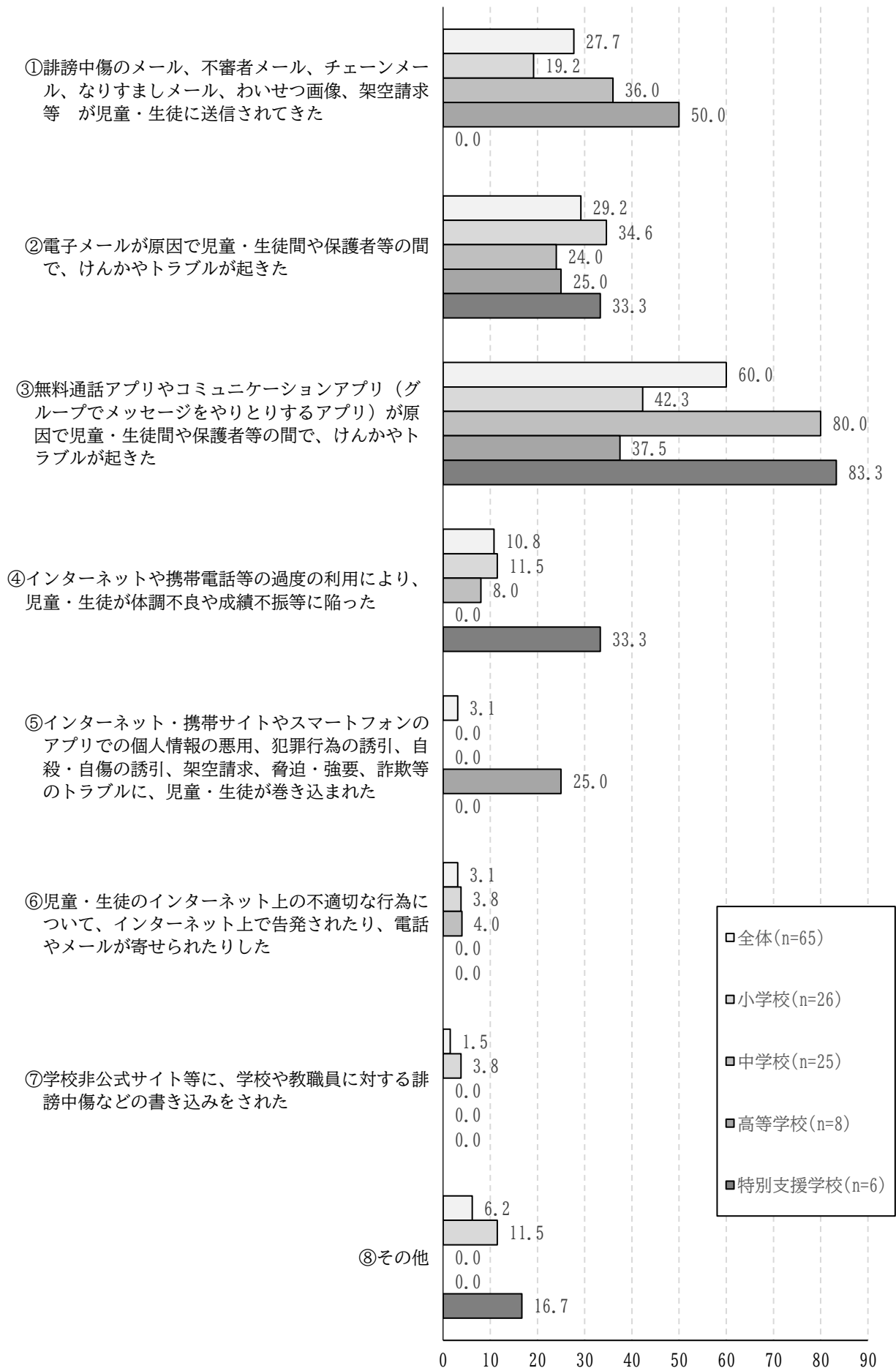
■トラブルの内容（学校種別）

学校種	(n)	トラブルの内容の割合 (%)							
		① 誹謗中傷のメール、わいせつ画像、架空請求等が児童・生徒に送信されてきた	② 電子メールが原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた	③ 無料通話アプリやコミュニケーションアプリ（グループでメッセージをやりとりするアプリ）が原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた	④ インターネットや携帯電話等の過度の利用により、児童・生徒が体調不良や成績不振等に陥った	⑤ インターネット・携帯サイトやスマートフォンアプリでの個人情報悪用、犯罪行為の誘引、自殺・自傷の誘引、架空請求、脅迫・強要、詐欺等のトラブルに、児童・生徒が巻き込まれた	⑥ 児童・生徒のインターネット上の不適切な行為について、インターネット上で告発されたり、電話やメールが寄せられたりした	⑦ 学校非公式サイト等に、学校や教職員に対する誹謗中傷などの書き込みをされた	⑧ その他
全体	65	27.7	29.2	60.0	10.8	3.1	3.1	1.5	6.2
小学校	26	19.2	34.6	42.3	11.5	0.0	3.8	3.8	11.5
中学校	25	36.0	24.0	80.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0
高等学校	8	50.0	25.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
特別支援学校	6	0.0	33.3	83.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

※複数回答のため、回答割合の合計が100%を超えた数値となる。

■トラブルの内容（学校種別）



学校現場における生成A I 活用の現状

(14) A I を活用した学習ツール等の活用状況

【質問14】 授業で生成A I やA I を活用した学習ツール等を生徒に使用させている先生はいますか。
(単一回答)

分析

全体では「いる」が39.2%であり、約4割の教員がすでに授業で生成A I やA I を活用した学習ツールを取り入れている。現時点では「いない」が60.8%と多数であるものの、学校現場への導入が一定程度進み始めている状況がうかがえる。

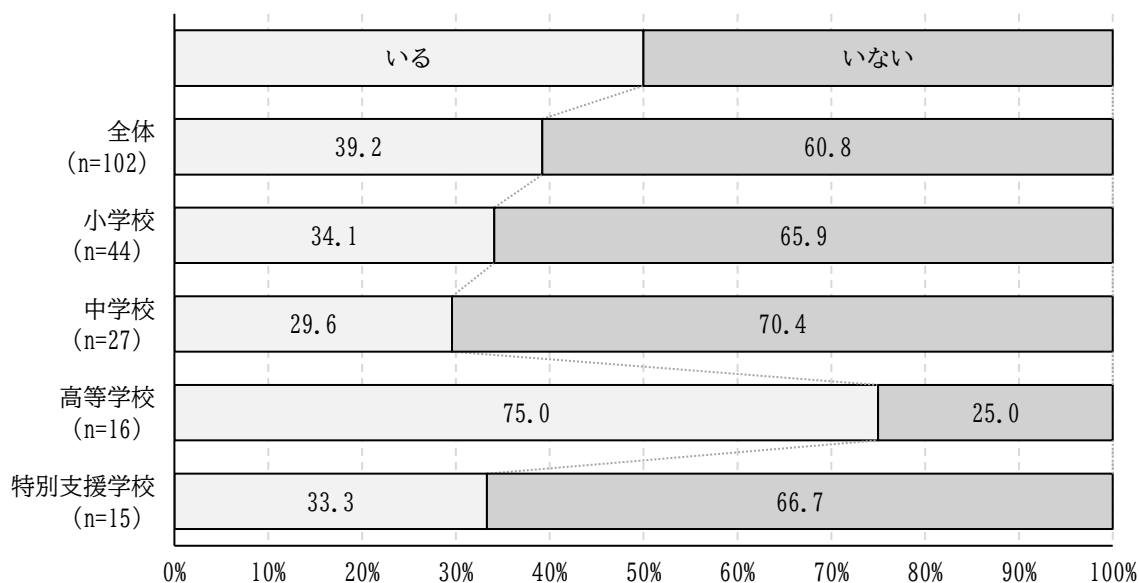
学校種別で見ると、小学校・中学校・特別支援学校では「いない」の割合が高い一方、高等学校では「いる」の割合が高く、学年段階や教科特性に応じて活用が先行していることが示唆される。今後、各校種の実情に応じた支援や事例共有を進めることで、さらなる活用の広がりが期待される。

■A I を活用した学習ツール等の活用状況（学校種別）

学校種	(n)	A I を活用した学習ツール等の活用状況の割合 (%)	
		① いる	② いない
全体	102	39.2	60.8
小学校	44	34.1	65.9
中学校	27	29.6	70.4
高等学校	16	75.0	25.0
特別支援学校	15	33.3	66.7

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

■A I を活用した学習ツール等の活用状況（学校種別）



(15) 教員の生成A I等の活用状況

【質問15】 先生方の様子について伺います。生成A I等を活用して授業準備や教材研究をしている先生はいますか。(単一回答)

分析

全体では、「いる」が 85.3%と高い割合を占めており、生成A I等を授業準備や教材研究に活用する教員が、多くの学校で一定程度存在している状況がうかがえる。すべての学校種において「いる」が最も高いことから、校種を問わず、教育活動における新たなツールとして生成A Iを試行的に取り入れる動きが広がっていると考えられる。

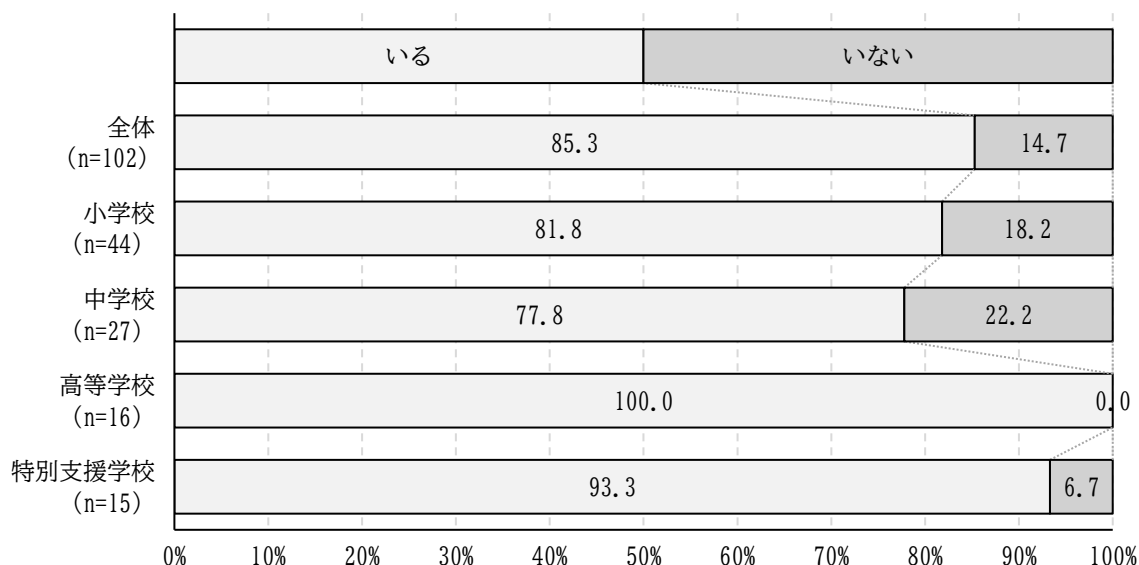
また、経年比較を見ると、生成A Iを含むデジタル技術の活用に対する教員の関心や取組は、年度を追って着実に進展している傾向が見られる。特に、授業準備や教材研究といった日常的な業務の中で、効果や利便性を実感しながら段階的に活用が進んでいる点は、現場主導での実践的な取組が蓄積されつつあることを示唆している。

■教員の生成A I等の活用状況（学校種別）

学校種	(n)	教員の生成A I等の活用状況の割合 (%)	
		① いる	② いない
全体	102	85.3	14.7
小学校	44	81.8	18.2
中学校	27	77.8	22.2
高等学校	16	100.0	0.0
特別支援学校	15	93.3	6.7

※網掛けは各学校種で最も割合の高いものを示している。

■教員の生成A I等の活用状況（学校種別）



■教員の生成A I等の活用状況（学校種別）令和5年度～7年度の経年変比較

学校種	年度	(n)	教員の生成A I等の活用状況の割合（％）	
			① いる	② いない
全体	R05	102	29.4	70.6
	R06	103	49.5	50.5
	R07	102	85.3	14.7
小学校	R05	44	36.4	63.6
	R06	44	43.2	56.8
	R07	44	81.8	18.2
中学校	R05	28	28.6	71.4
	R06	28	53.6	46.4
	R07	27	77.8	22.2
高等学校	R05	15	26.7	73.3
	R06	16	50.0	50.0
	R07	16	100.0	0.0
特別支援学校	R05	15	13.3	86.7
	R06	15	60.0	40.0
	R07	15	93.3	6.7

※網掛けは各学校種及び年度で最も割合の高いものを示している。